

此処では、こんな交流もできるんです！！

1、交流

バルセロナ日本人学校では、小学部、中学部共にスペインの学校との交流をします。小学部が「イシドロ校」「マラガイ校」との交流、そして中学部は、「自治大学」、「アンジェレッタ校」との交流をします。ここでは、主に中学部の交流紹介をしたいと思います。

2、交流の紹介

まず、一学期の中旬に「自治大学」との交流会が開かれ、二学期の終わり頃に「アンジェレッタ校」との交流。そして、三学期に、「アンジェレッタ校」に招かれます。

ここでは、自治大学の紹介をします。日本語を勉強している生徒たちなので、自治大学の先生は勿論、生徒もある程度日本語を話すことができます。

交流には、

- ・ 歓迎会
- ・ 交流 1
- ・ 軽食
- ・ 交流 2
- ・ 送迎会

があります。

歓迎会では、日本人学校から、スペイン語と日本語の歓迎の言葉があり、簡単なゲームをしたり、日本の紹介をしたりします。そして、自治大学からの言葉(たいてい日本語とスペイン語と英語)があったり、歌などの、芸があることもあります。それから、剣道・書道・茶道の三グループわかれ、活動を開始します。活動の前に、学校案内があったりと、そのまま交流1に入らない場合もあります。

3、交流 1

三グループにわかれて活動します。私は、茶道の活動しかしたことがないので、此处では、主に茶道の紹介をします。茶道では、まず、自己紹介をし合い、道具を簡単に説明し、お菓子の食べ方からお茶の飲み方まで実際に手本を見せます。そして、その後、日本人がスペイン人に、お茶のたてかたなどを教えます。なお、スペイン人に教えるのは、お茶の飲み方、お菓子の食べ方なので、お茶の細かい作法は省きます。勿論、実際にお菓子を食べたり、お茶を飲んだりもします。

茶道部、スペイン人に箸の持ち方を教えているところ。毎年、浴衣を着るか着ないかは、その年で違います。



次に、簡単なゲームをして、楽しんだ後、軽食となります。軽食では、日本人学校の生徒のお母様方が、腕によりをかけて日本のご飯を作ってくださいます。これは、スペイン人にとっても評判で、私たちも、スペインの人がどのような物を好むのか、が理解でき、おいしいので、とてもうれしい時間となります。たいていの交流では、この時間に、スペイン人と質疑応答をしたり、日本の文化について語ったりします。

剣道は、胴着の説明(勿論スペイン語)竹刀の持ち方、簡単なクイズをして、実際に竹刀をつかって、試合をしたりするそうです。



剣道部が胴着のしまい方を教えているところ。

そして書道では、そのスペイン人の名前を漢字の当て字で書いたり、日本語で遊んでみたり、実際にスペイン人にかいてもらう。などの交流をしているそうです。なお、各グループで、軽食のメニューなどは変わりません。

書道部の方がスペイン人に書き方をおしえているところ。



4、交流 2

自治大学では、交流活動2はありませんが、もう一つの交流、「アンジェレッタ校」との交流では、交流活動2があります。この活動も、三グループにわかれていて、バスケ、サッカー、文化系があります。

バスケ、サッカーは試合をしたり、簡単に練習をしたり、文化系は剣玉をしたり、綾取りをしたり、など、日本の古風な遊びを中心として、遊びます。スペインは、サッカーが有名なので、サッカー希望の男子は特に多いと思われます。毎年、燃えに燃えて試合をしている男子の姿が目につかびますね。また、文化系での綾取り、折り紙は、スペイン人にも人気で、男子も女子も、知っている技が多々ありました。スペイン人は綾取りが得意な様子でした。

5 , 送迎会

送迎会では、また、歓迎会のように、スペイン人からの言葉、日本人学校からの言葉、そして、そのときによって違うのですが、スペイン人と日本人が互いの名前を覚えているかのチェックをしたり、感想を聞いたりします。そして、前年度は、折り紙で作ったカタルーニャ(スペインのある地方)の国旗、スペインの国旗、日本の国旗を贈呈しました。しかし、絶対に何か贈呈するという訳ではありません。実際、今年のアンジェレッタ校交流会では、何も贈呈しませんでした。

このように、バルセロナ日本人学校では、スペイン校との交流もさかんです。そして、一月ごろ、私たちは、アンジェレッタ校にての交流会をします。そこでする事は様々で、前回は、スペイン料理の「トルティージャ」を調理したり、ビーズでアクセサリーを作ったりして、とても楽しかったです。そして、前回は、日本の竹馬をアレンジしたような道具、大縄、サッカーなど、ひとつの運動場の中で、そんな遊びをしました。アレンジしてある竹馬はとても難しく、日本人でも、できない人が多々いました。

6 , 交流会を終えて

私たちの中にも、スペイン語が話せなくて、ほとんど会話できない人もいます。私も、そのグループに入ります。ですが、身振り手振り、話そうという意味をもてば、相手も理解しようとしてくれます。ですから、カタコトなスペイン語でも、身振り手振りでも、会話しようと思うことが一番重要です。実際に、スペイン語が話せない人も、スペイン人と一緒に話したりして、楽しい時を過ごす人もいます。逆に、スペイン語を話せる人でも、スペイン人と話す気がない人は、日本人とばかり会話していて、あまり話すことができなかったという人もいます。

皆さんが、もし外国人と話すような機会があれば、話そうという意味を持って、身振り、手振りでもいいから、会話をしてみては如何でしょうか？そのほうが、外国語を覚えたり、交流を深めたりするのに効果的かもしれませんよ？